

研究課題名	臨床検体から分離された髄膜炎菌の薬剤感受性および分子疫学的解析
研究機関名	武蔵野赤十字病院 臨床検査部、順天堂大学大学院医学研究科微生物学
研究責任者	所属 臨床検査部 氏名 小野恵美
研究期間	(西暦) 2018年4月～2019年3月
研究の意義・目的	当院の臨床検体より分離された髄膜炎菌の薬剤感受性および分子疫学的解析 侵襲性髄膜炎菌感染症は、日本での届出基準が変更された2017年においても年間40例ほどであり、稀な感染症とされている。日本における侵襲性髄膜炎菌感染症から分離された髄膜炎菌の血清学的・分子疫学的解析結果によると、国外で報告されていない型も検出されている一方、世界で問題となっているシプロフロキサシン耐性株は日本でも報告されている。当院で分離された髄膜炎菌は呼吸器系検体からのものが多いが、これらの薬剤感受性や分子疫学的解析の結果から、患者の抗菌薬治療や公衆衛生上有用な情報を得ることを目的とする。
研究の方法 (対象期間含む)	2012年1月から2017年12月に分離された髄膜炎菌凍結保存菌株76株 ① 保存菌株を羊血液寒天培地で発育させる。 ② Clinical & Laboratory Standard Institute (CLSI) に準拠し、薬剤感受性試験を行う。 ③ 各菌から抽出したDNAを用い、分子疫学的解析を行う。 ④ 得られた結果と匿名化された臨床情報とともに統計解析を行う。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	① 使用菌株は過去の保存されたものを使用する。臨床情報として患者IDおよび患者名など、患者個人を特定する情報は使用しない。情報は他機関への提供は行わない。 ② 2012年1月から2017年12月に分離された髄膜炎菌凍結保存菌株76株および髄膜炎菌が分離された患者の年齢、性別、入院時病名、基礎疾患、診療科、入外区分、検体種類など ③ 武蔵野赤十字病院 臨床検査部 細菌検査室 小野恵美、順天堂大学大学院医学研究科微生物学 切替照雄教授、乗原京子准教授、上原由記准教授 ④ 武蔵野赤十字病院 臨床検査部 細菌検査室 小野恵美
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 臨床検査部 氏名 小野恵美 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525